

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 各ステム形状によるハイドロキシアパタイトコーティングステムの術後早期固定性評価』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 整形外科 職位・氏名 助教・高田和孝

【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は股関節の手術に使用される体内金属の骨との固定性を調べることを目的とした研究に利用します。研究方法は、股関節の手術で人工股関節置換術を受けた方を対象とし、2種類の金属のうち、どちらがより骨に対して良好な固定性が得られているかを手術を受けてから半年間の入院中や外来での診察や検査した情報をもとに解析を行います。この研究で得られる成果は、将来股関節の手術成績の成績向上につながります。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

診療情報の内容、X線やCTなどの画像情報、採血や生理検査結果などを使用します。

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2024年2月より利用を開始します。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

該当なし

【試料・情報の取得方法】

対象者: 2020年4月～2023年3月までに東邦大学医療センター大橋病院 整形外科において、大腿骨頸部骨折や変形性股関節症、大腿骨頭壊死症などの診断で人工骨頭挿入術または人工股関節置換術の手術を受けた方おおよそ50名

方法: 診療録(カルテ)から抽出した診察内容や採血や画像データを解析します。

観察期間: 2020年4月～2023年9月までの手術を受けてから半年間になります。

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者: 高田和孝 役職: 助教

【利用する者の範囲】

東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者: 高田和孝 役職: 助教

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大橋病院

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方、もしくは代諾者(研究対象者の親権を行う方、配偶者やその成人した子供、後見人その他これらに準じる方で、両者の生活の実質や精神的共同関係から見て、研究対象者の最善の利益を図りうる方)は、2024年2月29日までに下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 整形外科

職位・氏名 助教・高田和孝

電話 03-3468-1251 内線 7517